

The Supporters Times

衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

代案を提示しながら徹底した政策論争を！！



新政権になって初めての臨時国会が開会中です。私は、衆議院では、解散前に引き続き「総務委員会」の委員と「決算行政監視委員会」の理事を務めることになりました。加えて「災害対策特別委員会」にも所属することになり、合計3つの委員会の掛け持ちで多忙を極めそうです。本当は、NHKのTV放映が行われる花形の「予算委員会」を希望していましたが、私のような無派閥の議員は、党内における委員枠がないため野党になっても所属することができずにとても残念です。

また、党にあっては、厚生労働部会長代理および厚生労働関係団体委員長、党改革実行本部事務局長、情報調査局次長等に就任しました。初めて野党という立場にはなりましたが、反対のための反対という無責任な姿勢をとることなく、常に代案を提示しながら、大いに政策論争し、国民の皆さんにわかりやすい政治を示していきたいと願っています。

野党になったことによって、国会での質問時間が大幅に増えることになり、大変うれしく思っています。今までは、与党側は質問時間そのものを設けなかったり、あってもせいぜい30分の持ち時間があれば多

い方でしたが、今後は最低でも1時間単位で質問時間が確保できそうです。

従来、国会における多数派が内閣を構成するという議院内閣制のもとでは、予算案や法案が国会に提出される前に、与党内で徹底した議論が行われていました。内閣を構成する与党の立場ということもあって、国会での与党の質問時間は十分に確保されることはなく、ほとんど野党側の質問がメインだったのです。このため党内では活発な議論が行われるものの、肝心の国会審議ではなかなか質問するチャンスがありませんでした。今後は、国会という国権の最高機関で堂々と論陣を張れるわけですから、毎回、質問に登壇するつもりで取り組んで参ります。

ところで、新政権も鳩山総理の株式売却に伴う脱税問題や偽装献金問題、沖縄の基地問題での閣内不統一、あれだけ天下り根絶を唱えておきながら、郵政の社長や人事院総裁にキャリア官僚の天下りを登用するなどの言行不一致で、国民を裏切っているといえます。

事業の仕分け問題でも、無駄な事業を見直したり廃止することは当然のことにしても、十分な議論もなく極めて短時間に付焼刃的に整理するという強引な手法はあまりにも乱暴だと思います。なかには、直ぐには成果が表れないものの将来を見据えて投資していかなければならない事業もあります。「脱官僚・政治主導」という姿勢は私も大いに賛成ですが、何ら法的な位置づけや根拠のない一部の与党議員と民間有識者によるワーキンググループによって決められるのは相当問題だと思っています。国会の場で、選挙で選ばれた議員が多様な視点から意見を交わし、現在そして将来の日本のために必要な法制度をつくるのが、真の意味での政治主導ではないでしょうか。徹底して議論に議論を尽くして参る所存です。

衆議院議員

秋葉賢也

Think Globally, Act Locally!

10月26日、第173回臨時国会が開会しました。今回は3本の条約と、12本の法律が内閣から提出されました。

国会審議のしくみ

省庁に対応する形で常任委員会が設けられており、各所管に属する議案や請願を審議するとともに、議長の承認を得て国政に関する調査を行います。また特別委員会は、議員において特別に必要があると認めた案件または常任委員会の所管に属しない案件を審査するために議員の議決で設置されます。

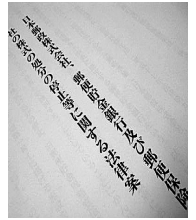
法律案が提出されると、議長が所管の委員会にこれを付託します。委員会では提案理由の説明や質疑、討論を経て採決が行われます。法律案は本会議で議決されたときに議院の意思として最終的に決まるものなので、委員会の審査はあくまで審査結果を議院の議決の場での最終判断の資料にするにとどまります。



審議は衆議院や参議院のホームページでも生中継されているんですよ！本会議だけでなく、テレビでは放送されない委員会での審議も見ることができます！

臨時国会が始まりました

かつて大臣政務官も務めた総務分野。3期目も使命意識を持って取り組んでいきたいと思えます！今国会、総務省関係の法案では「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案」など、公務員の給与や処遇に関する法律の改正案3本と、「日本郵便株式会社、郵便貯金銀行及び郵便保険会社の株式の処分の停止等に関する法律案」（通称：郵政株式凍結法案）の計4本が内閣から提出されました。秋葉代議士は総務委員会で給与法担当に決定！11月20日の委員会では公務員制度改革を中心に、トップバッターで質問に立ちます！



人事院総裁の人事や天下りの問題をはじめとする公務員制度改革の動向について、民主党のマニフェストと比較しながら追究したいと思います。国の財政事情なども含めて、国民の皆さまに納得していただけるような公務員制度の仕組みを考えていきます！また11月5日に地方分権改革推進委員会から、自治財政の強化による「地方政府」の実現を目指す第4次勧告が提出されました。国による義務づけ、枠付けも第3次勧告をうけて見直されつつありますが、勧告では892条項について見直しを求めたのに対して現在見直しが決まったものは100未満。まだまだ不十分な結果です。

地域間の財政格差が拡大しないように配慮しながら、地方自治体の自主性・自律性が十分確保されるような国と地方の新しい関係を探っていきます！

総務委員会

総務委員会・決算行政監視委員会（理事）・災害対策特別委員会に所属が決まりました。党では、厚生労働部会の部会長代理と厚生関係団体委員長も務めています！

決算行政監視委員会

主に会計検査院の所管に属する事案を扱う委員会で、国の決算や歳出を監視するほか、行政の政策を評価・監視する役割を担っています。税収が落ち込む一方で平成22年度の予算規模が過去最大となることが予想される中、決算行政委員会でも行政の無駄を徹底的に追究していきます！



新政権は政官関係の見直しを旗印に掲げて新たな仕組み作りを始めていますが、長期的にどのように変わっていくのか、国民の目からわかりにくい部分も多くあります。11月末の委員会では警察行政や国の予算の使い方、効率的な行政実現に向けての政府の方針の具体策について質問する予定で、現在準備中です！

皆さまの命や生活に直接かかわるところの多い厚生労働行政。医療や介護、年金、障害や少子高齢化、さらには新型インフルエンザなど、扱う分野はかなり幅広くなっています。皆さまの生活の根本を左右する問題だと思つくと、改めて気を引き締めて取り組まなくては、と感じます。

厚生労働部会

厚生労働部会では、現政権の打ち出した政策の詳細や進捗状況を確認するために、週2回ほどのペースで勉強会を開いて審議に備えています！厚生労働省からの説明のあと、代議士たちが現場の声や日頃感じている厚生労働行政への疑問をぶつけます。政府の方針のうち、望ましいものについては賛成して一刻も早く法・制度を運用させるべきですし、望ましくないものについては積極的に代替策を提案していきます！



また、今国会には議員立法として「肝炎対策基本法案」が提出されました。国の責任を明確にして肝炎の被害に遭われた方がこれ以上苦しまなくてもよいよう、解決に尽力してまいります！

←厚生関係団体との会議で司会を務める秋葉代議士

国際人口開発会議に出席

エチオピアで「第4回国連人口開発会議行動計画実施のための国際国会議員会議」が開かれ、日本代表として福田康夫元総理大臣らと共に参加してきました！出席者は世界各国の人口・開発議員連盟のメンバー議員200名以上に加え、政府・国際機関・NGO 代表や専門家など、総勢400名以上にのぼりました。



久しぶりに英語でのスピーチ！

国連の発表によると、2009年の世界人口（中位推計）は68億2900万人、それが**2050年には91億5000万人**に増えると予想されています。そのため途上国において、健康や保健医療に関する一連の基礎的サービス提供を拡充し、家族計画の普及、妊産婦の健康の改善、HIV 感染予防の努力が急務となっています。

世界規模での人口増加に対する危機感から94年にカイロで開かれた国際人口開発会議で、人口・開発問題解決のための「行動計画」が採択されました。今回はカイロ会議から15周年になるのを記念して、これまでの計画の実施経過を評価し、目標達成に向けての政策環境作りや資金動員について協議しました。各国内で現実に法律や政策に携わる人たちが集って取組を発表し、これからの実効的な仕組みを考えることのできるこの会議は、計画を効果的に進めるために大きな役割を担っているのです！

日本は、前回の2006年会議後の成果として、2008年7月の洞爺湖サミットで保健分野の洞爺湖行動指針の採択を後押しし、G 8北海道洞爺湖サミット議長総括に反映させたこと、同年4月に人口と開発に関するアジア国会議員会議を開催し人口問題の重要性を宣言文に明示したことを発表しました。

国際人口開発会議の行動計画を達成するためには、**ODA の拡充が重要**です。日本ではODA 予算は年々減額されており、今回の事業仕分けでも見直しの対象に入っています。世界に目を向けると、開発が遅れ、日本に住んでいては想像もできないほど貧しく過酷な生活を強いられ、食糧・健康に不安を抱えながら生活している人々、国がたくさんあります。また人口問題は人口が爆発的に増加している国・地域だけの問題ではなく、食糧や保健衛生の分野を中心に、世界中に影響を及ぼす問題です。国際社会の中で「豊かな国」になった日本としては、人口・開発にかかわる様々な問題に積極的に取り組んでいかなければならないと思います。

経済危機や国の財政が逼迫する中で ODA に対しても厳しい目が向けられています。説明責任が十分に果たされていないことがひとつの原因なのではないでしょうか。ODA がどのように使われているか、途上国においてどのように人々の利益になっているかを国民の皆さまに明確に示して重要性を理解していただき、引き続き効果的な支援のあり方を探っていきたいと思っております。

今後もこのような各国の国会議員との意見交換の場に積極的に参加して、世界一体となって人口と開発に関する問題を解決していきます！



△福田元総理、エチオピア代表らと

インフルエンザに注意！

迅速に！そして無料化を提言！

新型インフルエンザが猛威をふるっています。国立感染症研究所情報センターによると、全国の受診患者数は10月5日からの1週間では約64万人だったのに対し、10月26日からは約154万人。残念なことに、亡くなった方も50人を超えています。

手洗い・うがいの励行はもちろんのこと、やはり予防接種が一番安心ですね。医療従事者などを対象に順次接種が始まっていますが、接種の回数をめぐっては方針が二転三転。医療現場にも国民の皆さまにも混乱を生じさせています。

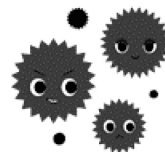
優先接種対象外の人にワクチンがまわってくるのか？輸入ワクチンは安全か？という不安もぬぐいきれません。

厚生労働省によると2回接種の場合、年度内に国産2700万人分、輸入5000万人分のワクチンが確保できると見込まれています。人口1億2500万人に対して7700万人分。これは主要各国と比較しても極めて不十分な量です。（ワクチンの総購入量を見るとイギリス、フランス、オーストラリアなどでは人口より多い。）さらに、**接種費用も1回目が3600円、2回目が2550円で6150円もかかります**。低所得者に対する負担軽減措置はとられますが、**アメリカ・フランス・ドイツでは無料、イギリスも優先接種対象者は無料**なのです！

今国会には「**新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法**」が提出されました。主な内容は、新型インフルエンザ予防接種によって健康被害が生じた場合の迅速な救済措置の整備と、輸入ワクチンによって副作用が生じた場合の販売業者への損失補償です。

他の救済制度や損失補償制度との整合性の取れた法律を早期に成立させるのと同時に、ワクチンの確保や予防接種の低価格化に一層力を入れて取り組まなくてはなりません。

まずは手洗い・うがいと栄養・睡眠。皆さまも十分お気をつけください！



エチオピアからの帰り道、ドバイに立ち寄り、社会・経済事情を視察しました。

中東の国の多くが石油産業に偏った産業構造をしているのに対して、多角的に開発を進めてきたドバイは年間17%を超える経済成長を記録していました。

しかし昨年の世界金融危機で大きな打撃を受け、今年の実質 GDP 成長率は2.5%ほどにとどまると見られています。世界一の高さを誇る超高層ビル“ブルジュ・ドバイ”（なんと高さは819m）の竣工が遅れるなど、まだ立ち直っているとは言えません。

総領事館の方からドバイ経済の強みや問題点を教えていただきながら、日本の景気回復に活かせる方策を探ってきました。

公約に掲げた政策「**積極的な議員外交による国益の向上**」の第一歩を踏み出しました！



教えて！永田町！

国会議事堂の中には、意外なものが設置されています。それはなんと…**酸素ポンベ**！

本会議中の議場には、議員をはじめとして約 500 名が入ります。白熱した質疑が長時間続く会議には、議場内の換気も効きません。異様な臭気が漂うこともあります。かつては香水を散布したこともありましたが、健康保持のため昭和 41 年 5 月 9 日、議場脇に「**酸素ボックス**」が設置されました。

不要になった電話ボックスを再利用しており、ボックスの中にはむき出しの酸素ポンベと吸引具、事務用椅子 1 脚だけが置かれています。

毎本会議日に、衛視がその都度ポンベ内の酸素の残量の調査と吸引具の消毒を行っているそうです。

師に学ぶ②

「幸福とは自分が幸せなこと。成功とは、自他共にあの人は幸せだなあとと思われること。他人に成功と思ってもらうには、やっぱり世のため、人のために何かを残す。死ぬときに、世のため人のためにずいぶんしたなあ、と思えたら『成功』である。」

エチオピアでの国際会議に出席した、「日本人の立場で」「国会議員という立場で」自分は世のため、人のために何ができるのだろう、と考えました。松下氏の残してくださった松下政経塾のおかげで県議・代議士となり、貴重な仲間や考え方に出会うことができました。「世のため、人のため」になる成功を収められるよう、松下氏の遺志を受け継いでまいります！



編集後記



国会事務所の鈴村です。

10 月の終わり、宮城県内の公園や河原が芋煮会でにぎわう中、秋葉代議士のふるさと丸森町にある**障害者授産施設「はらから福祉会はたまき手作りの里」**を訪問しました。様々な障害のある 24 人の利用者の方が、お互いに支え合いながら**かりんとう**の製作をしています。1 人 1 人が自分の担当パートを持ち、考え、悩みながらも、生き生きと仕事をしている姿がとても印象的でした。「仕事、楽しい？」と尋ねると、みなさん口を揃えて「**楽しいです！**」

現在の工賃は月 3 万円。彼らが自立した生活を営めるよう、**月 7 万円の工賃実現**を目標にしているそうです。

障害を持つ方の自尊心を傷つけることなく、地域との連携や施設職員への支援などまで含めた大きな視点で障害者福祉の問題を考えていかなければ、と感じました。



～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和 37 年 7 月 3 日宮城県生まれ、47 才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾生（第 9 期生 宮城県初）を経て、宮城県議会議員（三期）を務める。
- 総務大臣政務官や党副幹事長などを経て、現在、衆議院議員三期目。
- 決算行政監視委員会理事、総務委員会委員、災害対策特別委員会委員、党厚生労働部会長代理、厚生関係団体委員長、党改革実行本部事務局長、情報調査局次長を務める。
- 著書：「地方議会における議員立法」（文芸社）、「東北の夢創造」（ぎょうせい）。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

秋葉けんやと語る会 ～ 国政報告会 ～

泉区

日時 **12月18日(金) 19時～**
場所 黒松市民センター
(泉区黒松 1-33-40)

若林区

日時 **12月19日(土) 19時～**
場所 若林市民センター
(若林区若林 3-15-20)

宮城野区

日時 **12月21日(月) 19時～**
場所 原町コミュニティセンター
(宮城野区原町 1-3-54)

※皆様のご来場を心よりお待ちしております♪

けんやの思い出 ☆クリスマス☆

クリスマスの定番メニューといえば、ケーキとこの(→)お肉。食べ物に好き嫌いはほとんどなく、焼き鳥も大好きなのですが、実はこのローストチキンだけは苦手なのです。小学校のクリスマス給食で食べて気持ち悪くなってしまい、それ以来敬遠してしまっています。



もうひとつ思い出すのは、映画『Love Story』のワンシーン、ロックフェラーセンター前のスケートリンクの光景です。名ゼリフ "Love means never having to say you're sorry" (「愛とは決して後悔しないこと」) に感動！原作から読んでみたくなり、初めてのペーパーバックに挑戦しました。

今年のクリスマス、皆さまにもサンタクロースから素敵なプレゼントが届きますように…☆



「Yahoo！みんなの政治」秋葉代議士のページも更新中！
皆さま、こちら是非ご覧ください♪



秋葉賢也仙台事務所
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額 6,000円
編集 ㈱アクトジャパン